



世界に希望を生み出そう

2023～2024

THE ROTARY CLUB OF PORT NAGOYA

Weekly Report

名古屋みなと

承認 1966年 5月12日 例会日 金曜日 12:30
 例会場 名古屋マリオットアソシアホテル
 事務局 TEL 052-221-7020 FAX 052-221-7023
 E-Mail office@portnagoya-rc.com
 URL http://www.portnagoya-rc.com
 会長 柳澤 講次 幹事 藤掛 誠一郎
 広報・雑誌・会報委員長 野崎 修

CREATE HOPE in the WORLD 世界に希望を生み出そう R.I. 会長 ゴードン・R・マッキナリー



第 2672 回例会 No.2
 2023年(令和5年)7月14日(金) 晴
 「我らの生業」

出席報告

会員 58 名中 49 名 出席率 84.48 %
 Oゲスト
 グローバル奨学生 中澤 泰子さん

会長挨拶

会長 柳澤 講次君



前回の会長挨拶のときに申し上げるつもりでしたが、スケジュールが詰まっていたので、自分も上がっていたので、言いわすれてしまったので追加で申し上げます。
 私たち建築の世界では「繋ぐ」という言葉がよく使われます。住宅を長く大事に使って後世に伝えるためには、適当

適当な間隔で修理修繕改造を繰り返していくことが大事だと言われています。

これは我が「みなと」にも言えることと思います。
 60年前の1960年代は東京オリンピック、所得倍増計画などこれから経済発展が目覚ましく進展していく時期に生まれ1990年代のバブル崩壊まで右肩上がりで会員も増え、そして崩壊後は徐々に会員数も減り、現在に至っています。そして今後、次に訪れる少子高齢化による社会の変化にむかっていかなければなりません。そのためのブラッシュアップが必要です。
 変わらなければいけないこと、ダウンサイズさせなければいけないこといろいろあると思います。しかし絶対に変わってはいけないことがあることも明白です。私は、それはロータリーメンバーのプライド・ブランドだと思っています。大切にしていきたいと思いません。

本日は各委員長が知恵を絞って皆さんと一緒に楽しい一年をすごすための活動方針を発表してくれます。ご期待ください。

最後に この場をお借りして23～24年度スタッフ全員でがんばりますので、みなさまの御協力を切にお願いして、会長挨拶とさせていただきます。

ニコBOX

(グローバル奨学生中澤泰子さん、一緒にがんばりましょう) 柳澤会長
 (ゲストのグローバル奨学生中澤泰子さん、ようこそお越しいただきました。本日は楽しんでいてください。新年度方針発表していただきますクラブ五大奉仕委員長の皆様、S.A.A.委員長代理の梅田君、本日はよろしくお願ひいたします)藤掛幹事
 (本日は山内 S.A.A.の代理で S.A.A.基本方針を発表させていただきます) 梅田君
 (野崎君、いつもありがとうございます) 山川君
 (7月8.9.10と4年ぶりに会社の慰安旅行で北海道に行ってきました。3日間とも素晴らしい晴天に恵まれ次の日からは警報級の大雨との事。つくづく自分の強運を感じました。久留宮君ありがとう) 高村君
 (柳澤会長、これから1年間よろしくお願ひします) 栢森君
 (本日はグローバル奨学生中澤さんにお越しただいております。皆様よろしくお願ひいたします) 長瀬君
 (市野君、仕事で大変お世話になりありがとうございます。中建さんに負けないようお色気営業で皆様方からのお仕事、もらえるように頑張ります) 藤原君
 (柳澤会長、先日はごちそう様でした。今年がんばります) 加藤(昌)君

本日合計	74,000 円
累計	456,000 円



第1回雀友会を8月4日(金)に「麻雀琥珀」にて行いますので、参加希望の方は7月26日(水)までに事務局にご連絡ください。

グローバル奨学生紹介

地区グローバル奨学生・平和フェロー委員会
副委員長 長瀬 廣幸君



昨年度籠橋ガバナー年度に申請いたしましたので、今週アメリカの財団本部から正式にグローバル補助金奨学生として承認されました中澤 泰子さんです。グローバル奨学生とは将来国際的に活躍される意思のある方が海外に留学される際にサポートをするという財団のプログラムです。今年の3月まで愛知県がんセンターに腫瘍内科医として勤務していたドクターです。アメリカジョージア州アトランタのエモリー大学公衆衛生大学院に二年間留学されます。当クラブがホストクラブとして2年間サポートさせていただきます。どうぞお気を付けていらっしゃいませ。



1. 前回報告の訂正です。「同好会希望アンケート」について、予算で一人 5,000 円と伝えましたが、一人 3,000 円の補助ということで訂正をお願いします。

2. 先週の理事会の報告で Weekly には書いてありませんが、この7月からマリオットホテルの価格が変更になったので、フードロスを考慮するために、事前に皆さんに例会の出欠席確認として、欠席の場合のみ連絡するように事務局からメールが届きますので、欠席する場合は必ずご入力をお願いします。基本的に出席する方は、入力する必要はありません。また、今回は次回例会の出欠席案内も発信されましたが、次回からは例会終了後にメールにて発信させていただきます。

3. 家族旅行会の日程変更が決まりましたのでお伝えします。10月20日の例会変更で、12月10日(日)～11日(月)に島根県に行きます。神有月で10月を予定していましたが、旧暦の関係で、この日が神有月にあたるということで決めさせていただきました。

4. 本日もビデオ撮影しており、見ていただいている方も多いですが、メイキャップにあてられないか？とのご意見がありますが、メイキャップはクラブだけの問題ではないので、このビデオでメイキャップにはあてられません。でも見てくださいね。

5. 来週の21日の例会には、ゲストとして金沢みなとロータリークラブの高会長・松井幹事に来ていただきます。

6. その他、地区などの報告です。先週の例会終了後、第2回ロータリー財団委員会運営会議があり、猪子君と長瀬君が出席していただきました。今週12日(水)は西名古屋分区会長・幹事懇談会に柳澤会長が出席され、昨日13日(木)は第1回グローバル奨学生・平和フェロー委員会には、猪子君と長瀬君が出席していただきました。ありがとうございました。以上です。

第1回 クラブフォーラム・新年度方針発表

①クラブ管理運営委員会 委員長 鈴木 哲君



今年度クラブ奉仕委員長を仰せつかりました鈴木哲です。クラブ計画書に述べていますように活動方針はクラブの内と外の奉仕を促進していく事です。クラブの内への奉仕につきましては、柳沢会長方針の「信頼と友情を深めよう」に

あるように会員同士の繋がりを深め、特に各委員会間の交流をする機会を持ちたいと考えています。

また今年度はプログラム委員長の野崎君の尽力もあり、レベルの高い卓話者を予定しています。私の同窓生である元 NHK アナウンサーで紅白歌合戦の総合司会を務めた三宅民夫アナウンサーも 10月27日に卓話をします。ご期待ください。

そしてクラブの外への奉仕につきましてはクラブの奉仕活動に積極的に参加するように促してまいりたい、特に9月23日予定の名古屋掖済会病院で行われる「ブラックジャック体験」を大成功にしたいを思っています。

皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

②職業奉仕委員会 委員長 加藤 昌哉君



『職業奉仕』とは、自分が世の中のためになる職業を誠意をもって行い、周囲の人たちをより幸せにするために、論理観をもって仕事をする事である。仕事のために、社員・取引先（仕入れ先・下請け）・お客様先に迷惑をかけないこ

とである。そしてその職業が社会のために役立ち、周囲の人々により高い幸福度をもたらすものであることが望ましい。そして、その結果としての利益を得て、社会に応分の配当としての「税」を払い、応分の報酬として「自分の糧」をいただくのである。

したがって、「職業奉仕」とは英語では VOCATIONAL SERVICE という考え方で、天職として人に与えられた役目のようなものと考えられる。ロータリアンは職業を通じて世の中に奉仕するものと考えているのです。

あるロータリークラブで動物病院を経営している会員は、公立幼稚園の砂場における「細菌ぎょう虫検査」の奉仕活動を行いました。砂場というのは非常に不衛生なところで、野良猫や野良犬が来て糞をします。その中にはぎょう虫が混じっていることがあり、園児が知らないうちに感染してしまうことがあるそうです。そこで砂場のぎょう虫検査をすることにより、より安全な砂場で園児が遊べるよう、園児の健康管理を目的

に行いました。

“この奉仕活動において、受益者は誰であるか？”

自分以外の人々として受益者は幼稚園児であり、その親です。そして地域社会としては幼稚園であり、教育委員会です。この意味からいうとこの奉仕活動は社会奉仕になります。次に、この奉仕活動において、自分自身が受益者になるにはどのような場合でしょうか。それは園児の親や幼稚園、教育委員会が会員に対してどのような感情を持つのかです。自分の職業を通して子供たちの健康管理というものを考え、自分で何が出来るのかを考えて行ったこの砂場のぎょう虫検査は、園児の親や幼稚園は、会員に対し、尊敬の念を持つに違いありません。それと同時に会員は、信用と信頼を「砂場のぎょう虫検査」という奉仕活動で、自分自身が得るのです。これはお金では決して得ることの出来ないものです。社会奉仕ということによって、その地域の人々、地域社会から「尊敬と信頼と信用」を自分自身がえるのです。そして自分の職業がその反射的効果として繁栄するのです。これがロータリーの「職業奉仕」です。奉仕活動によって自分自身が受益者になるのです。社会奉仕と職業奉仕は、以上のように「一対」のものであると考えてもよいのではないのでしょうか。

「最も多く奉仕する者、最も多く報われる」があります。(アーサー・シェルドン)

今、会員は、公立幼稚園のぎょう虫検査のみならず、市内すべての公園の砂場のぎょう虫検査を行っています。これはより多くの社会奉仕活動をすればするほど、その地域の人々や地域社会からより多くの職業奉仕である「尊敬と信頼と信用」を得るのです。これが「最も多くの奉仕する者、最も多く報われる」なのです。

実施計画

職場見学を名古屋掖済会病院でドクターカーの見学をさせていただきます。

③社会奉仕委員会

委員長 加藤 嗣郎君



今年度社会奉仕委員長を拝命しました加藤嗣郎です。今年度の活動方針としましては、先日の理事会での柳澤会長の意向を踏まえて、社会貢献及び奉仕の原点に立ち帰りたいと思います。その上で実施計画としましては、1つ目に名古屋

屋掖済会病院ブラックジャック体験を9月23日に行います。先週の例会にて藤掛幹事から話をしましたが、掖済会病院さんは断らない病院として24時間体制での救急医療対応をされており、当ロータリーのメンバーである北川院長はその最前線に立っておられます。ブラックジャック体験は近隣の小中学生を呼んで地域医療の大切さを学んでもらい、より身近に感じてもらう体験にします。みなとロータリーの社会奉仕事業ですので当ロータリアンのみなさんは是非積極的に参加して下さい。あと名古屋中央ローターアクトと協力し、献血活動を行います。例年ですと今まで名古屋西養護学校さんに寄付・音楽活動を行ってききましたが、今年はいりません。その旨を野崎前社会奉仕委員長が先方に伝え、理解していただいております。それは柳澤会長から、今までの奉仕活動をもう一度見直し別の形でロータリアンの奉仕の精神に則り行いたいと思います。現在理事会にて審議中です。また決まりましたら、皆様にその都度お伝えしたいと思います。私の挨拶としては以上となります。今年一年頑張りますので、何卒宜しくお願いします。ありがとうございました。

④国際奉仕委員会

委員長 市野 文俊君



昨年度実施しました、ランドセルプロジェクトを今期も行います。ランドセルプロジェクトは、寄贈したNPO法人の方々にも大変喜ばれたと聞いています。昨年度委員長の久留宮君にご指導いただきながら、今期も是非実施したいと

思います。みなさまのご協力があって、成り立つ奉仕活動です。時期がきましたら、改めてご案内いたしますので、みなさまのご協力をお願いいたします。また、ここ数年は4月に開催されております、WFF（ワールドフードフェスタ）ですが、今期から名称が変わりRFF（ロータリーフードフェスティバル）となります。今期の開催は、4月20日、21日が予定されています。RFFを盛り上げることで、支援金の増額に繋がります。是非、みなさまのご参加をお願いいたします。

最後にご案内となりますが、今期の国際大会は、2024年5月25日～29日までシンガポールで開催されます。飛行時間は約6～7時間で時差もわずか1時間のため、日本からのアクセスも大変便利な場所です。是非、ご参加のほど、よろしく願いいたします。

⑤青少年奉仕委員会

委員長 大平 剛君



1. 活動方針

- (1)名古屋中央ローターアクトクラブ(RAC)の活動および会員増強を応援、協力する。
- (2)名古屋中央 RAC の 提唱 3RC (名古屋名駅・名古屋丸の内・名古屋みなと)の協力関係を深める。

(3)2760 地区 RAC (全 10 クラブ) 全体の理解を深め支援、協力する。

(4)インターアクト委員会、RYLA 委員会、青少年交換委員会、学友委員会の理解を深め支援、協力する。

2. 実施計画

(1)RAC 例会への RC 会員の出席を促す。

(2)RAC 主催行事を支援し、RC 会員の参加を促す。

(3)世界の RAC 標準を反映し、日本 RAC の RC からの経済面を含めた自立を促すよう支援する。

(4)緑の散歩道プロジェクト(植樹のメンテナンス)の継続

(5)2024年4月20～21日開催予定のロータリーフードフェスティバル(RFF/旧 WFF)の RAC 出店を支援する。

⑥S.A.A.

副 S.A.A. 梅田 武久君



本日は S.A.A.の山内君が体調不良につき欠席のため、代理で報告させていただきます。

1.活動方針

SAA は Sergeant At Arms の略語であり「会場監督」と訳されています。例会、宴会等がロータリークラブとして品位、格式を持って円滑に行われる

よう執行してまいります。

2.実施計画

具体的な実施計画は特にありませんが、理事会が行われる度に意見を伺い、改善してまいりたいと考えております。

また、親睦活動委員会・プログラム委員会と密な打ち合わせを行い、実りある例会運営に努めてまいります。例会における全てのご意見・ご要望を皆様のご希望に添えるよう努力してまいります。

ロータリーの例会は「入りて学び、出でて奉仕せよ」と言われております。常に有意義で楽しい例会が開催されますよう努めてまいります。

新年度役員就任祝いの会報告

とき 7月11日(火) 18:00

ところ 食楽堂「蓬左<hōsa>」

出席者 柳澤、棚橋、高村、長瀬、山内、鈴木、加藤(昌)
加藤(嗣)、市野、大平、中井、久留宮、野崎、
藤掛 14名(敬称略)



新入会員研修会及び第1回クラブ戦略委員会議事録

とき 7月14日(金) 13:30

ところ 名古屋マリオットアソシアホテル

17階「櫻」

出席者 柳澤 棚橋 高村 三枝樹 藤掛

新入会員 加藤(博) 野村 大矢 長谷川 林

森 小山 小椋 北川(敬称略)

【新入会員研修会】

*高村研修委員長より新入会員に対して研修を行った。

【クラブ戦略委員会】

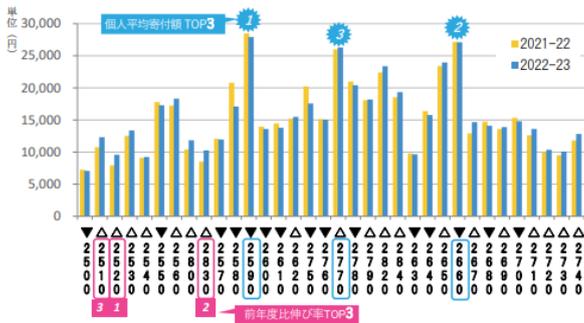
*クラブの現状課題などを話し、理事会への審議・確認事項などを整理しました。

次回開催日 第2回 12月8日(金) 13:35~



1. 2022-23 年度 寄付金結果

2022-23 年度の寄付金は約 14 億 2,300 万円となりました。前年度比 5.7%増（普通寄付金:1.2%減、特別寄付金:8.8%増）、約 7,700 万円増加しました。とりわけ、2 人の学友からそれぞれ約 6,900 万円、1,000 万円という高額寄付をお送りいただいたことなどもあり、今年度の予算を達成することができました。皆さまに厚く御礼申し上げます。2023 年度も引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願いたします。



個人平均寄付額 TOP3 【全国平均：16,960 円】

① 第 2590 地区：27,903 円 ② 第 2660 地区：27,097 円 ③ 2770 地区：26,283 円

前年度比伸び率 TOP3

① 第 2520 地区：120.9% ② 第 2830 地区：120.5% ③ 第 2510 地区：114.5%

2. 第 2 回 次期地区米山奨学委員長セミナー開催

2023-24 年度の地区米山奨学委員長を対象とする第 2 回セミナーを 6 月 13 日、米山梅吉記念館（三島）で開催しました。セミナー開始前に市川学芸員から、館内展示と梅吉翁の墓所を案内していただきました。



セミナーは若林紀男理事長の挨拶に続き、事務局から学校説明会や奨学生選考の注意点他、学友会、広報、寄付の説明を行いました。

その後 4 グループに分かれ、奨学生選考、奨学生育成、学友会の活性化などをテーマに、各地区における現状の課題や、取り組みについてディスカッションを行いました。最後にディスカッションの内容を代表者が発表し、井原実常務理事の挨拶で閉会となりました。全国から集まった次年度委員長間で活発な意見交換が行われました。

3. 学友ロータリアンが 10 万円寄付「毎年続ける」

中国出身の米山学友で、第 2620 地区甲府中央 RC に所属する伊原 廣鴻さん（1997-98/一宮 RC）が 10 万円を寄付し、6 月 26 日の例会にて第 1 回米山功労者として表彰されました。



奨学委員長から感謝状を授けられた伊原さん(右)

現在は山梨県内で内科医として勤務している伊原さんは、「米山奨学生に合格した時は、世界が変わったかのように嬉しかったことを今でも覚えています。一宮 RC の当時のカウンセラーさんには何から何までお世話になり、本当に感謝しています。これからは、米山奨学生だったことへの恩返しをするべく、毎年寄付を続けるだけで

なく、医療でも地域に貢献していきたいです」と、力強く今後の意気込みを語りました。

例会では、同地区の渡辺郁米山記念奨学委員長が卓話を行い、当事業の概要について説明。質疑応答も行き、米山奨学事業への理解を深めました。同クラブは、衛星クラブとしての活動を経て、2022 年 4 月に正式にロータリークラブとして始動。第 2620 地区内において女性比率 1 位のクラブとして 2 年連続で表彰された特徴的なクラブで、2023 年 4 月からはモンゴルからの奨学生を受け入れています。

4. 10 年の時を経てベトナムで再会

米山学友の累計数が 23,000 人を超え、今や世界中で学友が活躍しています。今回は、10 年の時を経て学友と再会を果たしたロータリアンの話をご紹介します。

第 2670 地区、阿波徳島 RC は 2013 年から 1 年間、ベトナム出身のディン・ミン・フィーさんの世話クラブとなりました。当時クラブ米山委員長だった向井眞一会員によると、例会後共に食事に行き飲み交わしたり、クラブの野球チームに参加したりと、ディンさんは「社会的で、明るく真面目な性格の好青年」だったそうです。奨学期間終了後、ベトナムへ帰国したディンさんは、同地区の米山学友であるフィン・チャ



ディンさん(甲斐石)一家と向井会員(右)

ン・ティエー・フェンさん（2011-13/美馬 RC）と結婚。向井会員にも結婚報告の連絡が届きました。直接お祝いすることは叶いませんでしたが、今年 6 月のベトナム出張を機に、ディンさんと再会。現在は不動産関係の職に就き、1 人の父親として大きく成長した姿を目の当たりにし、感銘を受けたそうです。

現在は堪能な日本語を操るディンさんは、「また日本に行ってクラブの皆さんに挨拶がしたい」と思いを語り、クラブの方へのお土産をくれたそうです。向井会員は、その様子を帰国後の例会で披露。10 年という月日が流れても、変わらず素敵な交流が続いています。

Thank you

学友からの高額寄付



2021 年 12 月に当会へ 100 万円をご寄付いただいた台湾出身の張忠信さん（1961-64/東京 RC、1964-66/東京日本橋 RC）からこのたび、2 回目のご寄付として 1,000 万円をいただきました。張さんは、自身と同じ台湾出身の米山学友が累計で 3,500 人を超え、多くの後輩たちが巣立っていることに、喜びを語りました。改めて、お気持ちに感謝申し上げます。

月	日	今後の例会予定
7	21	港友例会 卓話 米山記念奨学生 王 春琦君 「モンゴル国と内モンゴル自治区は どういうこと？」 17F「コスモス」
	28	休会
8	4	港友例会 17F「コスモス」
	11	休会
	18	卓話 名古屋競馬所属女性騎手 宮下瞳氏 17F「コスモス」
	25	例会変更 夜間例会「香楽」 17:30 受付